



## 東青地協『新型コロナウイルス感染症対策プロジェクト』活動紹介

連合青森東青地域協議会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止として、地協役員限定(青年・女性含む)での活動『新型コロナウイルス感染症対策プロジェクト』を展開中です。今回は、現在、取り組みしている活動をご紹介します。

### 1. 西北五地協と合同による『海洋プラごみクリーンキャンペーン』(17名の仲間と共に)を実施!!

東青地協は、西北五地協(佐藤議長)との合同企画として、8月2日(日)に深浦町(道の駅ふかうら 風合瀬いか焼き村)にて海洋プラごみクリーンキャンペーンを実施しました。東青地協から5名(佐藤議長・岸野副議長・田邊副議長・作田青年事務局長・大澤事務局長)が参加し、西北五地協の仲間と共に活動を行ってきました。今回の場所では、主に漁業用網や流木そしてプラごみが多くあり、参加者は、日差しが強い中、砂に埋まっている網や流木そしてプラごみを引っ張りだしたりしながらゴミを集め、約2時間の活動で写真のように多くのゴミを回収してきました。活動をおこなった場所は、子連れの家族におススメの場所でもあり、当日も、磯浴び(やどかり・カニ・小魚等)や海水浴を楽しむ家族にぎわっていました。道の駅で購入できるソルティソフト(塩昆布粉末入り/300円)も有名ですので、役員で綺麗にしてきた海、今年の夏は、少し足を延ばして行ってみたいはどうでしょうか?



### 2. 平和学習会バスツアー(7.28平和の集い代替策)を実施!!

連合青森・東青地協は、1989年の結成以来、悲慘を極めた青森市の空襲を永遠に記憶し、二度と戦争を繰り返すことのないよう平和運動の一環として「7.28平和の集い」を開催してきました。しかし、今年は、新型コロナウイルス感染症の対策として従来開催していた「7.28平和の集い」は中止とし、戦後75年という一つの節目であることから「平和学習会バスツアー」として、青森空襲で被害が多くあった青森市内をバスで巡るツアーを企画し、8月1日に実施いたしました。東青地協からは、地協役員・青年女性役員から9名が参加し、当日は、市内の空襲の際に焼け残った建物や遺構、慰霊碑などをたどりながら「青森空襲を記録する会」今村会長より、青森空襲の惨劇・被災状況について説明を受けました。

『1945年7月28日、青森市は米軍の空襲で一夜にして焼け野原となり市街地の90%を焼失、1000名以上の犠牲者を出し、多くの生命と財産が一瞬にして奪われた』という貴重な話や、青森空襲を経験した方が少なくなっており、知っている情報も併せて少なくなってしまうとの話もありました。こうした状況を踏まえ、改めて私たちが、青森空襲で多くの方が犠牲になったことや戦争の悲惨さを後世に伝え、恒久平和を実現していく必要性を強く感じた日となりました。(松原にある中央市民センターに、青森空襲に関する資料室があります)



### 連合青森東青地域協議会 Facebook はじめております

本地協ニュースは、月ペースで発行していきますが、東青地協 Facebook については、随時、取り組み活動や各種情報を更新していきますので、組合員の皆さまは是非アクセスお願いいたします。

※検索

www.facebook.com › Places › Aomori, Aomori

連合青森東青地域協議会 - Home | Facebook

